



日比谷歯科新聞～64号

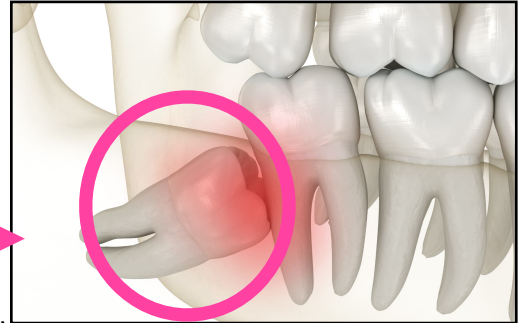
皆様お元気でしょうか？ 7月です！お子さんたちは夏休みですね～
近年暑すぎてプールも入れないと聞いてびっくりしました💦

今回は親知らずについてお話ししていこうと思います！皆さんは親知らず何本ありますか？
抜いてないよという方、あるけど特に何もしていないよ～という方それぞれです。
親知らずって何なのか！？ お話ししましょう～

親知らずは正式には第三大臼歯と呼ばれ、奥歯の1番後ろに生える永久歯です。通常上下左右に1本ずつ合計4本あります。

しかし、全員の人に生えるわけではありません。

- ・ 4本全てある人 ・ 一部だけ生える人 ・ 全く生えない人
 - ・ 骨や歯ぐきの中に埋まったまま出てこない人
- ※埋伏歯(まいふくし) と言います。

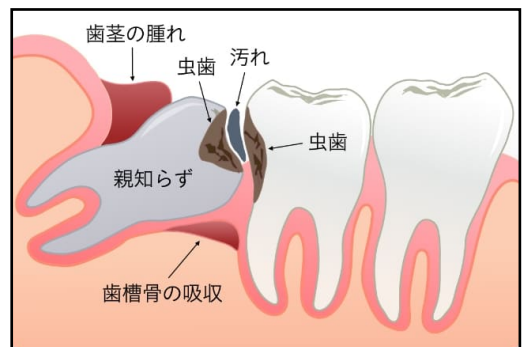


生える時期も、多くの方は17歳～25歳頃に生えてきます。

この時期はすでに親が歯の成長に関わらない年齢になっているので『親が知らない歯＝親知らず』と呼ばれています。

親知らずは「まっすぐに生えてこない」ことが多いため、以下のような問題がよく起こります。

- ⚠️ ・ 奥にあって磨きにくいいため親知らずとその隣の歯が虫歯になりやすい
- ⚠️ ・ 部分的に出ていて汚れが溜まって歯ぐきの腫れ、炎症が起こり痛みが出る
- ⚠️ ・ その炎症が広がると痛みが強くなり、さらに顎や頭の痛みまで起こる



親知らずは抜くべき?? 以下のような場合は抜歯が勧められます👉

- ⚠️ ・ 痛み・腫れを繰り返す ・ 横向きに生えていて他の歯に悪影響を与える
- ・ 磨けない位置に生えていて虫歯・歯周病のリスクが高い

💡 親知らずの豆知識 💡

親知らず＝知恵歯? : 英語では「Wisdom Tooth(知恵の歯)」と呼ばれます。

これは、成熟して生えるため「知恵がつく頃に出てくる歯」と考えられているからです。

痛みがあるな～と感じたらまず1度相談してくださいね！ Oでした～👏

